



ふるばやし

京都府議会議員

vol.04 2021.04

古林よしたか 府議会報告

ずっと住み続けられるまちへ

京田辺市 井手町
宇治田原町



[発行] 古林よしたか 〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1プレステージ書番館106号 TEL.0774-64-7078

furubayashi-yoshitaka.com

令和3年
2月

定例会報告 一般質問

質問に至った 背景・想い

古林よしたか
一般質問の動画

こちらから→



質問01 予測困難な世界での京都府製造業のあり方について

私は子どもの頃から、日本のものづくりの強さを自分事のように誇りに思って生きてきました。しかし、近年は日本の製造業にかつてのような力強さが見えにくくなっています。この傾向が、日本人としての自信喪失につながっているのではないかと感じています。

その上、2008年のリーマンショック以降、想定外のことが突然起きてサプライチェーンを見直さなくてはならない、ということが頻発しています。今回のコロナショックもまさにその流れの中で起こったことです。

こうした予測困難な世界というのは、製造業にとって致命的な問題となります。なぜなら、製造業というのは研究開発や設備投資を行うにあたって、ある程度予測ができないと大規模な投資ができないからです。では、予測困難な世界において製造業は、どのように生きていけばいいのか、どうすればもう一度力強さを取り戻せるのか。こういう問題意識のもとで、今回の質問を行いました。ぜひ動画をご覧くださいませ。(上記QRコードより)



質問02 これからの京都府の教育について

小学校の英語正式教科化や英語重視教育の目的が単に「バイリンガルな子を育てよう」というものだとしたら、これにはいろんな問題があるのではないかと考えています。一見、世の中の流れとは反する意見に聞こえるかもしれませんが、非常に重要な問題であるため、京都府教育委員会の考えを質しました。

2020年に小学校5、6年から英語が正式教科化されました。小学校で英語が正式教科になるということは、中学受験の受験科目に英語が加わるということです。そして、最近の風潮として英語を話す力が重視されるため、英語での面接が課される学校も増えてくるでしょう。そうすると、それに対応するために小学校の夏休みにマレーシアやフィリピン、イギリスやアメリカなどに語学の短期留学をする家庭が増えてくるでしょう。

日本より英語重視教育が15年ほど早い韓国ではすでに、教育移住が問題になっています。子どもの頃からできれば英語圏で生活をさせようと、英語で授業が行われる学校に通わせるために家族で移住してしまう。または、お母さんと子どもだけ移住させて、お父さんは単身赴任というような家庭が増えていることが、韓国ではすでに社会問題化しています。日本でも、ビジネス雑誌等で教育移住が取り上げられ始めており、塾でも夏休みをつかって短期留学をやろう

とし始めており、同じ問題が起こると予想されます。

つまり、このままだと近い将来、日本の高学歴エリートは幼い時に外国で教育を受けた人が増えます。そうすると、正しい日本語や日本人が守るべき価値観、いわゆる常識を身につけていない人たちがどんどん国の中枢に入っていきます。そうすると、ますます格差社会に拍車をかけていってしまうのではないかと。

また、「英語ができた方が将来良い職業につける」という雰囲気や教育現場に満ちてくると、子どもは日本語や日本文化はあまり知的ではなく、英語や英語文化の方がカッコいいんだと、ますます思ってしまうのではないかと。

大切なことは、日本語や日本文化というのは英語や英語圏の文化よりも勝るとも劣らない素晴らしいものなんだと、子どもが感じられるようにしておくことです。でなければ、新しい自虐史観のようなものができてしまうのではないかと。このようなことを危惧し、今回の質問につながっています。ぜひ私の質問動画をご覧くださいませ。

(上記QRコードより 2問目は12分～)

英語重視政策の議論はさらに深く掘り下げて考える必要があります。ぜひ中面『コラム』をお読みいただきまして、皆さんと一緒にこの問題について考えていきたいと思っております。

コラム

歴史に学ぶ言葉の大切さ



明治時代の議論

今の日本が豊かで、諸外国に比べれば格差が小さい国づくりができたのは、日本語をしっかりと知的な言語にしてきたことが最大の要因の一つだと言えます。

明治の初期、1870年代に英語公用語化の議論がありました。当時、森有礼(もり ありのり)初代文部大臣は、日本の近代的国づくりは日本語ではなく英語でやるべきだと言いました。学校制度も小学校から英語でやるべきだと主張し、日本の近代的国づくりを英語ですか、日本語ですかの論争が起こりました。



森 有礼
肖像:
国立国会図書館蔵

森有礼は、日本語は近代的な国づくりをするのに向いていないのではないかと考えました。なぜなら江戸時代は、公文書は漢文で書くことが多く、日本語は文法がしっかりしていないし、文字も中国から借りている。また、政治・経済・医学・薬学などに関する語彙も日本語には少ないので、日本語では近代化できないだろう。だから悲しいけれど英語でやるべきだと考えました。

そこで当時、森有礼は日本に来ているアメリカの言語学者や、御雇い外国人の教育者に相談しています。「英語で近代的な国づくりをしようと思うが、どう思うか?」という問いかけに、アメリカの言語学者ホイットニーは、「いや、やはり母国語である日本語でやらなければ近代的な国づくりは難しい」と答えています。



馬場辰猪
肖像:
国立国会図書館蔵

また、馬場辰猪(ばば たつひ)という土佐出身の自由民権運動の運動家だった方が、森有礼に対し説得力のある批判をしました。馬場は、近代的国づくりは日本語でやらなければならないと言ひ、その理由を三つ挙げました。

一つ、英語の習得には多大なる時間と労力がかかるので、若者の時間の浪費につながる。日本語と英語は言語学的にかなり異なるため、習得に時間がかかりすぎ、他の勉強ができなくなってしまう。

二つ、時間と労力がかかるので、英語が身につくのは一握りの特権階級だけになってしまう。暇とお金がある一部の特権階級だけが国づくりに関わり、多くの国民の力を結集できなけれ

ば、豊かで強い国づくりはできない。

三つ、格差が拡大してしまう。当時のインドでは、英語を使って仕事をしているインド人と、現地語で仕事をしているインド人とで非常に大きな経済的格差があった。そのせいで、国民相互の団結心や連帯意識が欠けている。英語ができるインド人は、英語ができないインド人を小馬鹿にしている。英語ができないインド人は、英語ができるインド人のことをインド人だと思っていない。このように日本も英語で国づくりをすると、国民が分断されてしまい、国民全員で団結できなくなってしまう。



馬場は英語が得意でした。イギリスの出版社から日本語の文法書を英語で出版しています。馬場は、「私が英語で日本語の文法書を出版できたように、日本語の文法にもしっかりとした体系がある。足りないのは語彙だけだ。だから、翻訳して、造語して日本語の中に位置づけていけば、日本語で知的な会話ができる。日本語でいろんな学問ができる。そうなれば全員参加の国づくりができる。」と訴えました。

このように翻訳路線でいけば、若者の時間の浪費にもならないし、多くの人が国の重要問題に関わって議論ができる。団結心や連帯意識を阻害せず、格差も拡大しない。だから、翻訳して全員参加の国づくりをやっていきましょう、という馬場の主張は、今でも通用する議論だと思います。

明治の国づくりは、日本語をしっかりと守って、日本語を高め、外国語の概念を翻訳して、格差を小さくし、国民の連帯意識を守りつつ、全員参加で国づくりをしていこう、というものでした。多くの人を排除せず、一般庶民が少し努力すれば、外国語を勉強しなくても、日常の言葉だけで知的なものを学べる。そして自分の能力を磨いて、政治的にも経済的にも社会的にも参加していける社会空間、公共空間を日常の言語でつくりあげた。これが日本の近代化を成功に導いた大きな要因だと思います。

現在の英語化推進政策で、馬場が危惧したようなことが起こってしまわないか。つまり、若者の時間の浪費、国の重要問題



に一部の特権階級しか関われない、格差が広がって国民の連帯意識が分断されてしまわないか。英語化というのはこういう問題を生んでしまう可能性があることを理解した上で、議論していく必要があります。

宗教改革が近代をつくった



格差を生むと、みんなの力を合わせられなくなり、結果として組織は弱体化してしまいます。日本が近代化に曲がりなりにも成功したのは、少しでも多くの日本人が力を合わせられるようにしたからです。そのためには、外来の字を翻訳して、土着化し、庶民の言葉としてきちんと位置づけることが大切です。そのことは、中世ヨーロッパの宗教改革の歴史をみればわかります。

当時の中世ヨーロッパではラテン語がグローバルエリートの共通語でした。ただし、一握りの聖職者や貴族しかラテン語を扱うことはできませんでした。そして、ローマカトリックの聖書は、ラテン語で書かれたもの以外は認められませんでした。ですので、宗教的な救いも日常的な言語では得られず、当時の庶民は教会に行き、ラテン語の聖書を読んでもらいました。

これを壊したのが宗教改革です。宗教改革で、聖書が各地の土着の言葉に翻訳されていきました。それによって、どうなったか?

各地の一般庶民が、ドイツ語や英語といった自分たちの慣れ親しんだ言葉で、神の言葉が読めるようになりました。すると、徐々に土着の言語にすぎなかったドイツ語や英語で知的なこ

とが話せて、考えられるようになっていきました。

これによって、各国の言葉が鍛えられていき、国語(知的なことを話し、考えられる語)が成立しました。各国の土着語・俗語が、天下国家・森羅万象を論じられる言葉になっていきました。庶民が使っている言葉でちょっと努力すれば、ラテン語を学ぶよりはるかに容易に難しい本が読めるようになり、庶民が難しい知識にアクセスできるようになりました。

中世ヨーロッパでは、ラテン語がわからないから庶民が知性を磨くことができず、社会に参加できませんでした。近代になるとこれができるようになり、庶民が社会参加、政治参加、経済的な参加もできるようになりました。これにより、多くの人の活力を社会に集められるようになっていき、社会の活力が大きく増し、その活力が近代化に繋がりました。これが近代化成立の要因です。まさに明治の日本と同じです。近代社会は、翻訳と土着化によってもたらされたという側面が色濃くあるということです。

母語だと創造性も増す

外国語で新しいことを発想するのは難しいです。新しいことは、学問でもビジネスでも芸術でも、言語化されていないひらめきとか、言語化されていない既存のものに対する違和感などを言語化していく試行錯誤のプロセスの中でつくられていきます。これは、日常生活の様々な感覚をもっている母語でなければ不可能です。



日常の母語で、いろんな難しいことを考えられるようになるということが、創造性を増すことにもつながります。その創造性も近代社会をつくる大きな活力になりました。これらの歴史に学びながら、今のグローバル化や英語重視政策のあり方を考えることが大切です。

古林 活動記録



地元のイベントに参加



2021.02.10
美化活動
JR松井山手駅周辺



2021.01.06
美化活動
JR大住駅周辺



2021.03.12
美化活動
JR京田辺駅周辺



2021.04.07
美化活動
近鉄新田辺駅周辺

新型コロナウイルスに関する情報



ワクチン

新型コロナウイルスワクチンの接種にあたり、
ワクチンに関する相談や、接種の予約方法などのお問い合わせ

京田辺市	京田辺市新型コロナウイルスワクチン接種対策室	接種会場やクーポン券(接種券)等に関する相談、問い合わせ TEL 0774-34-1955 平日 8時30分～17時15分	
井手町	井手町新型コロナワクチン接種コールセンター	TEL 0774-82-2121 8時30分～17時00分 (土日・祝日除く平日のみ)	
宇治田原町	宇治田原町新型コロナワクチンコールセンター	※接種の予約は、優先接種対象者の高齢者の方から、 4月下旬以降に開始する予定です。 TEL 0774-88-6615 平日 8時30分～17時15分	
京都府	京都新型コロナワクチン相談センター	ワクチンに関する医学的知見が必要となる副反応等に係る専門的な相談 TEL 075-414-5490 9時～19時 (土日・祝日を含む)	

京都府版支援制度 まとめ

個人・世帯向け

<http://www.pref.kyoto.jp/koho/corona/index.html>

詳しくは京都府支援まとめサイトをご覧ください。

給付	低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金 ひとり親世帯への支援 1世帯につき5万円、第2子以降ひとりにつき3万円	ひとり親世帯臨時特別給付金 コールセンター 平日 9時～18時 TEL 0120-400-903
	住居確保給付金 離職・休業等で収入が減少し、住居を失った方、失うおそれが高い方への家賃の支援 [上限額] 家賃相当額(生活保護制度の住宅扶助額) [支給期間] 原則3ヶ月、最長9ヶ月	厚生労働省コールセンター TEL 0120-23-5572
	京都府安心・安全な妊婦出産確保事業 PCR検査を希望する妊婦への支援 [助成上限額] 「PCR検査に要した費用」を、最大2万円以内	京都府健康福祉部こども・ 青少年総合対策室(母子保健係) TEL 075-414-4591
	新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金 事業主の指示により休業したが、休業手当を受けられない方への支援 休業前賃金の8割(日額上限11,000円)を支給	厚生労働省コールセンター TEL 0120-221-276
協力金	営業時間短縮要請協力店舗への協力金の支給 山城・乙訓地域15市町村 1店舗あたり、時短要請に応じた1日あたり4万円(定休日除く) (京都市内は、1日あたり最低4万円～、事業規模に応じて給付)	協力金コールセンター TEL 075-365-7780
貸付	生活福祉資金(特例緊急小口資金) 休業等により収入の減少があり、貸付を受けたい [貸付上限額] 20万円以内	厚生労働省 個人向け緊急小口資金・ 総合支援資金相談コールセンター TEL 0120-46-1999
	京都府高等学校等修学金 経済的理由により修学が困難であり、貸付を受けたい [国公立] 月額18,000円以内 [私 立] 月額30,000円以内	京都府教育庁 高校教育課 TEL 075-574-7518

令和3年4月23日現在の情報です。必ず最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。



皆様のご意見・ご要望
お待ちしております。



古林よしたか 事務所のご案内

〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1 プレステージ番館106号

TEL.0774-64-7078 FAX.0774-64-7079

✉ furubayashi.yoshitaka@gmail.com

<https://furubayashi-yoshitaka.com/>

古林よしたか  検索



ホームページ



facebook



twitter